7　芸術（美術）

学校番号	１０８

平成３１年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３
使用教科書	高校生の美術３（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・普段から様々なものに興味･関心をもち（移りゆく季節の色や形、人工の造形物等）、視点（線）を注ぐ。
・授業中だけでは、なかなかアイデアが生まれないので、日常生活の中で、ふと浮かんだものを描きとめておく。
・大作にも積極的に挑戦してほしい。（時間と労力はかかるが…）
・構想を練るときには、必要な資料を、美術室や図書館で調べる。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 取り組む姿勢 アイデアスケッチ	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	授業中の様子 発言内容 鑑賞レポート（その内容）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。　　作品提出期限厳守

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	絵画(油彩、アクリル、水彩)・鉛筆デッサン・立体彫刻・モビール・デザイン(イラスト、ポスター)	【絵画・彫刻・立体】【デザイン】 ・油彩、アクリル 大きさ50号以上 具象、抽象、幻想 ・水彩 四切水彩紙3枚 ・鉛筆デッサン モデル6個以上 四切で2枚以上 ・立体 角材で立体彫刻 orモビール ・デザイン イラスト ポスター B1パネル 自由テーマ 高校展のテーマ課題 「現時点では未定」 この中から1つ選択し、制作する	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:大作の場合はエネルギーがいるので、早い目にしっかりと取り組んでいく。 b:素材の特徴、表現方法をいろんな角度から考察し、構想を練る。 c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求して表現している。 d:様々な作品を鑑賞し、自分の制作の中に取り入れていく。	学習活動の様子 アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品

2学期	絵画・鉛筆デッサン・着彩・読書感想画・看板づくり・デザイン（イラスト、ポスター、ジャケット）	【絵画・立体】【デザイン】 ・油彩、アクリル　30号 抽象、具象、幻想、自由テーマ ・水彩 四切水彩紙で3枚 ・鉛筆デッサン モチーフ2個で3枚以上 ・着彩写生 モチーフ2個で3枚以上 ・読書感想画 自由図書と指定図書 ・立体 看板づくり（木材主体の独創的なもの） ・デザイン イラスト ポスター ・ジャケットのデザイン この中から1つ選択し、制作する	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:大作の場合はエネルギーがいるので、早い目にしっかりと取り組んでいく。課題に対して意欲的に取り組もうとしているか。 b:素材の特徴、表現方法を、いろんな角度から考察し構想を練る。 C:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求して表現しているか。 d:様々な作品を鑑賞し、参考にしながら、自分の制作の中に取り入れていく。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品
3学期	工芸（七宝焼き）	【工芸】 ・七宝焼き 銅版を形作る	○	○	○	○	a:興味、関心をもちながら、意欲的に取り組もうとしたか。 b:銅板の形がきちっと作られていてデザインと合っているか。 c:何回でも焼成できるので、自分が納得できるまでやったか。 d:今までの様々な作品を鑑賞しながら、自分としてどうやっていくか。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。